

令和3年1月25日

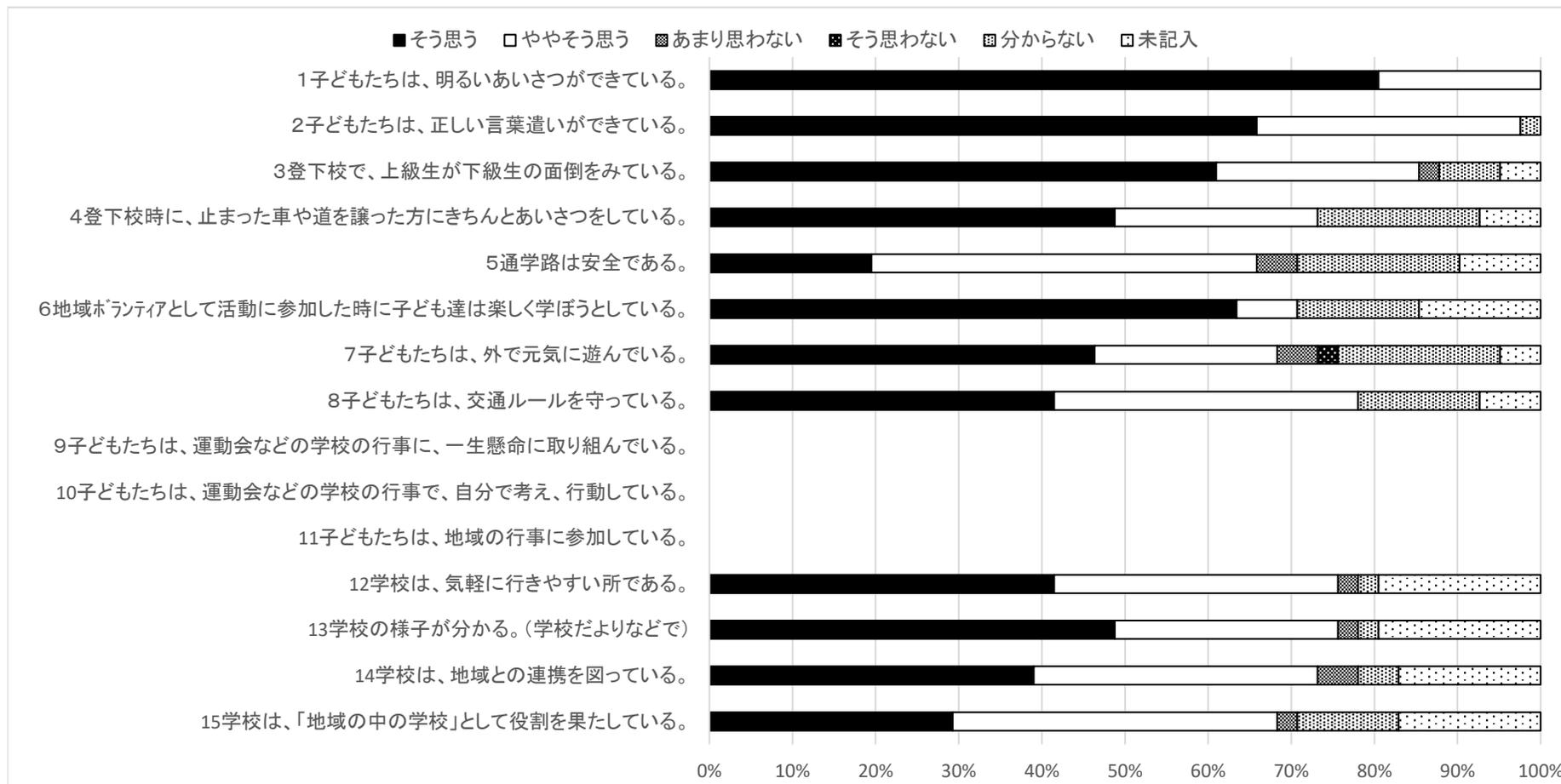
高久小学校地域の皆様へ

那須町立高久小学校学校運営協議会長 高久登志男
那須町立高久小学校校長 嶋村 政樹

令和2年度学校評価(アンケート)結果(地域版)について

学校評価(高久小の子どもに関するアンケート)への御協力ありがとうございました。皆様からいただいた回答は、以下の通りです。

学校生活に関するアンケート (回収 41人)



* 9、10、11は、コロナ禍により今年度は実施せず。

☆ 学校への御意見等

○通学路について(4名)

- ・高久小学校の通り、スピードオーバーの車を見かける。保護者の送迎かどうかは分かりません。
- ・危険という程ではないが、魚園の前の愛宕山からの落ち葉が多く、休みの日などに良くないかも。大田原土木に掃除してもらえれば良いのですが。
- ・県道17号を渡る所(新西原から学校への道):信号ができて少し良くなったかな。
- ・通学路上の木の枝が出ていて、問題ある場所がある。

○その他(3名)

- ・6年琴教室…短時間でも皆さん一生懸命頑張ってお琴を弾いてくれました。私として何よりうれしいことです。
- ・道などで行き会すと、必ず先にあいさつしてくれます。言葉遣いなどもはっきりしています。
- ・読み聞かせに参加したのですが、6年生の子どもたちがどんどん大人っぽくなり、真面目に私の方を見てくれて最後に拍手頂きました。大変嬉しくなっていました。子どもたちは、温かい心とか思いやりの気持ちがあるんだなと感心しました。この子たちは、大人になっても大丈夫だと思うし、やっぱりご両親がしっかり子育てをしているのだと思います。私から見ると子どもたちがすごくお利口さんに見えました。みんながんばってください!

☆ アンケート結果から

アンケートの回収が、41名と昨年の60名より少なかったですが、昨年の結果と比べて今年度は「2子どもたちは、正しい言葉遣いができている。」「3登下校で、上級生が下級生の面倒をみている。」の肯定的評価が多かったです。高学年が落ち着いて生活しており、良い見本となっているとのことです。しかしコロナ禍により学校や地域の活動(行事)が少なかったことが影響しているのか、「14学校は、地域との連携を図っている。」「15学校は、「地域の中の学校」として役割を果たしている。」の肯定的評価が減少しました。

学校運営協議会評価委員会では、次のような意見が出ました。

- ・学校が地域との連携を図るという点において、学校だけでなくPTAが地域との連携を図って子どもたちの健全育成に努めて欲しい。
- ・今後児童数が少なくなる傾向にあるので、PTAも自分たちでできることは自分たちで行い、自分の地域という思いをもって地域と関わって欲しい。
- ・保護者が地域の中での関わりをもてていないのではないかと。保護者がもっと自治会の会合の中で、学校についても話ができるような環境となることを望む。
- ・通学路などの危険を感じたところは、地域の方が自治会長さんに連絡していただいて対処して欲しい。
- ・自治会長の引継の際に、通学路の安全確保について(落ち葉や雑草、側溝の補修等)も周知して、土木事務所への連絡などを行えると良い。

(文責 学校運営協議会評価委員会)

* 通学路についての危険箇所については、保護者からも意見がありましたので学校から丸山駐在所の畑巡查部長に連絡を入れました。その中で次のようなことを教えていただきました。

国道については「国土交通省」に、県道については「大田原土木事務所」に、町道については「那須町」に、私道は「自治会長さん」に連絡する必要があるということです。そして、危険事案は、自治会を通じて連絡をしていくことが望ましいということでした。

学校は、「地域の教育力」が支えとなります。地域で対応していただき、学校をサポートしていただけると大変有り難いです。防犯面も含め通学路で心配なことは、学校以外にも各自治会長さんを通じて各組織に働きかけていただくという御対応を、お願いできると幸いです。

* 高久小学校では、学校ホームページを作成しております。下記のURL または QRコードよりパソコンやスマホ等からご覧いただけますので、興味のある方はぜひアクセスしてご覧ください。保護者アンケート結果などもホームページに掲載しております。

高久小ホームページアドレス <https://takaku.edumap.jp>

